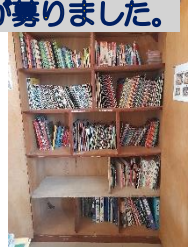
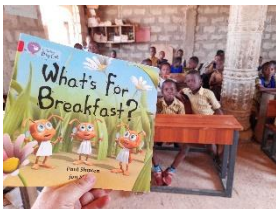


Your future is made by reading books 19号

2025年3月20日

1月に始まった2学期は、4月初旬に学期末テストが行われ、同月中旬から約3週間の休みに入ります。3月頃から中学3年生は一気に中学卒業認定試験に向けての授業そして模試になります。図書館で3年生の姿をほとんど見る事が無くなってきました。思えば、本が大好きで自習時間や休み時間に一人でやって来たヨンは卒業間際まで図書館を利用していました。3月のある日、書架の整理整頓をしていたら休み時間になっていました。新しく購入した本を書架に入れようとしたところに中学2年生の女子生徒が教師の給食を届けに図書館に入ってきました。新しい絵本を目にした生徒は「新しい本？」と目を輝かせながら訊いてきました。「そうだよ。ところでさ、ここ（書架）誰がいつもきれいにしていると思っているの？」と少しお小言をいうと彼女たちは「トシコ」と答え「ねえ、自習時間に来ようね。」と互いの顔を見合っていました。現在、中学1,2年の生徒は自習時間に誘い合ってきているようです。校内で唯一電気が通っている図書館は、天井のファンが廻っていてとても涼しく過ごし易い環境です。その過ごし易い環境の中で、静かに本を読む中学生の手元を見ると、新しく書架に納められた絵本や小説を目にします。眉間にしわを寄せて読んでいる生徒もいれば、笑いながら読んでいる生徒もいて、皆いい顔をしているのがまた良いのです。この2学期は、小学1年～4年生の教室に行き、絵本の読み聞かせを行ないました。低学年での絵本の読み聞かせは、子どもを愛おしく感じる場面が多くあります。お話しに出てくる登場人物と同じように身体を動かしたり、また絵本を読み終えた後にお話しの中からクイズを出してみたり、子どもに前に出てきてもらい音読劇をする中で、子ども一人一人の行動が可愛いのです。きれいに整理整頓するようにと声をかけても返事だけはいつも良くなかなか実行にはならないけれど本を読むのが好きな中学生、愛おしさを感じる低学年、これらは図書館があって、そこにはたくさんの本があり、読むことによってこれまで知らなかった言葉や想いを知ることが出来るのだと改めて図書館の存在意義を感じました。現在未使用の3つ目の書架も本でいっぱいになりたい想いが募りました。



図書館建設サポーター 一般社団法人ギブアウェイ様

プロジェクトサポーター KAWASHO FOODS (GULF) FZE 様

フェリシモ基金事務局様 矢東タイヤ様

